

都道府県名：埼玉県 氏名：藤原 梯子

地域

荒川は、埼玉県秩父市にある甲武信ヶ岳を源流とし、新河岸川、入間川などの中小河川を含め、その範囲は広く、流域面積は本県の約70%を占めています。東京湾と直結する地の利から、江戸時代より物流の大動脈としても機能し、人々の暮らしになくてはならない存在でした。現在、その給水人口は約430万人(埼玉県の総人口は733万人/2024年4月)であり、飲み水のみならず、農業、工業、発電など、埼玉県の様々な営みを支え続けています。

略歴

平成13年4月～現在	特定非営利活動法人 水のフォーラム 理事長
平成15年4月～平成16年3月	八ッ場ダム等の建設に関する基本計画変更に係る懇話会委員
平成20年4月～平成21年3月	埼玉県川の再生懇談会委員

功績内容

- 市民に対し流域の水に関わる情報提供等を行い、人と水との関わりの再構築に寄与する活動を行っている特定非営利法人「水のフォーラム」の設立から現在に至るまで、理事長を務めている。
- 荒川流域における水への理解の促進を目的とした機関紙『水のFORUM』やその特集記事を合冊した『荒川流域を知るⅠ・Ⅱ』等による情報発信のほか、「見沼田んぼ」での循環型伝統農法の実践活動、荒川の上下流交流会、「私のまちに流れる水」作文コンクール実施など、流域の水循環の保全や普及啓発に尽力している。
- 埼玉県「八ッ場ダム等の建設に関する基本計画変更に係る懇話会」の委員に携わり、八ッ場ダム建設の推進に尽力したほか、埼玉県川の再生懇談会の委員も務めるなど、水資源行政の推進にも貢献した。



機関誌の発行(流域における水への理解促進)



上下流交流(滝沢ダム直下で植林)



用水路の通水機能維持(用水浚いの実施)



上下流交流(大滝村婦人会と交流会)